

冬の夜に光を灯して

日常が大きく揺らいだ2020年。例年とは違う生活スタイルに不安やストレスを抱えた人も多いのではないのでしょうか。まもなく年の瀬。今年1年のご褒美に、素敵な雑貨はいかがですか。ゆらめくキャンドルや、彩りの美しいスタンドグラスを飾り癒しの時間を楽しんでみませんか。



上) 草花を詰めた後、溶かしたワックスを流し込みます。透明から白く濁り、30分ほどで固まると綺麗な型から外れます。左) アンティークな雰囲気のあるドライフラワー。アジサイはさまざまな種類があり、ボリュームをもたせることができるのでボタニカルキャンドルでの使用が多いです。



ボタニカルキャンドルは、ドライフラワーなどが入った外側の層は溶けずに残る二重構造。炎の位置が下だと内側から植物を美しく照らします



キャンドルの原料であるワックス。右から順に、一般的によく使用されるパラフィンワックス(石油系)、自然由来の蜜ろう(ミツバチの分泌物)、ソイワックス(大豆)、パームワックス(やしの実)

第3の人生を考えたときに 出合ったボタニカルキャンドル

アトリエ・ミユルミユールの玄関を開けると、ふんわりという香りが漂い、たくさんのドライフラワーが目を惹いてくれます。「草花を入れてつくるボタニカルキャンドルの材料です。体験レッスンに来られるお客様にも自由に使っていただきます」と講師の竹村真紀さん。

竹村さんは長年幼児教育に携わりましたが、年齢を重ね、第3の人生は時間にゆとりをもつて楽しみたいと考えていました。もともとモノづくりが好きで、多肉植物の器をつくるセメント作家のワークショップに参加しキャンドルと出合いました。

「初めて挑戦するモノは上手く作ることができません。でも、それが悔しくて、自分の納得がいくまで突き詰めるタイプです」と微笑みます。自分らしい作品を目指してさまざまなキャンドルに挑戦するなかで、すっかり虜に。ローヤルフラワースクール・銀座スタジオエスの花キャンドルコースで基礎を学んで資格を取り、

今年10月からミユルミユールの活動を本格化させました。

飾っても灯しても楽しめる 奥深い魅力を堪能

キャンドルの原料であるワックスの種類は多彩です。ワックスによってキャンドルの表情や炎の燃え方、溶け方に違いがあり、数種類をブレンドすることも。また、キャンドル制作にも多様な技法があり、形を自在に変えられるのも魅力。キャンドルの可能性は無限に広がり、試行錯誤しながら制作活動が続いています。

「キャンドルを育てる」という言葉があります。芯の太さによってロウが溶ける直径が変わるのですが、時間を待つて大切に灯すと、中央部分だけがきれいに溶けて窪み、筒形になります。そのまま飾っておくのもいいですが、私は底に穴を開け植物の器として使っています。キャンドルは使い切った後も、長く楽しむことができます。

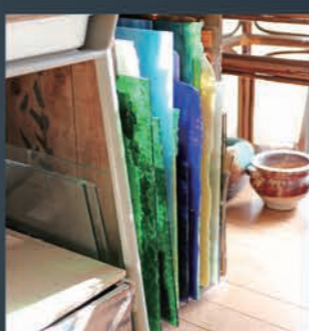
ミユルミユールは、マルシェなどへの出店やアトリエでの体験レッスンをメインで実施。「コロナ禍で中止が続いていましたが、10月に徐々にマルシェに出店したところ、昨年に比べてお客様がとても増えました。キャン



ドライフラワーや木の実などたくさんのストックがあり、キャンドルをより美しく彩ります



竹村さんのボタニカルキャンドルに必ず入れるアストランチア。「万人受けしなくても、私のカラーを出した、私が好きなキャンドルを作りたいです」



材料のガラスはヨーロッパ産やアメリカ産のもの。以前は国内でも作られていたが、今は手に入らないそうです



スタンドグラスを使ったランプシェード



古民家久米邸の雰囲気になじむ和風のスタンドグラス

古民家久米邸
瀬戸市朝日町49-3
0561-84-5396
11:00~17:30
土日のみ
(平日要問い合わせ)



スタンドグラスに魅了された 趣味が高じて工房を設立

ドルに癒しを求められているのではないのでしょうか。ゆらめく炎、美しい色合い、壁に投影されるシルエツト、キャンドルの魅力は尽きることがありません。

工房入り口横には、月と星がデザインされた印象的なスタンドグラス。「月の光が好きなのでこの名前にしました」と話すのは、スタンドグラス月光窓の山田祐紀さん。月光窓では、スタンドグラスのパネルやランプ、雑貨などを制作販売しています。

「もともとスタンドグラスを見るのが好きでした。雑貨店で材料が売られているのを見て、軽い気持ちで制作を始めました。はじめは趣味だったのですが、すっかりのめり込みました」と話します。クラフトフェアなどで商品として購入してもらおう喜びを感じ、工房を立ち上げたいと思うように。独学で学びながら制作していましたが、3年ほど教室に通って本格的な技術を身に付け、月光窓を設立しました。

工房内のギャラリには、さまざまな作品が並びます。「パネルはオーダーメイドが多いです。お客様の要望を第一に考え、設置する場所にも合わせてデザインします。ランプは電球を使用しますが、スタンドグラスを通すと光が柔らかくなります。光が通ったときをイメージしながらデザインしています」

和風にも洋風にもなじみ 暮らしに取り入れやすい

スタンドグラス制作は、まず図面を描き型紙を作ります。次に、型紙を板ガラスに置いて型を描き、ガラスカッターを使ってカット。カットしたパーツは、ガラスを削るルーターを使って形を整えます。ランプのような立体的なものは、パーツのふちを銅のテープで巻き、パーツとパーツをハンダ付けして組み立てます。自らパズルのピースを作り、一つひとつを組み合わせていく細かい作業。それが性に合っていると山田さんは笑います。

月光窓の作品は、椿や朝顔、唐草模様など和の雰囲気を取り入れているのも特徴です。もともと和風が好きで山田さん、「日本の生活空間に合うものを意識して制作しています。和のスタンドグラスは、和風の家はもちろん、洋風の家にもなじみます」。大正ロマンを感じる和洋折衷の雰囲気を醸し出せます。「若いカップルがじっくりと選んで、購入してくださったときはとても嬉しかったです。長く愛用してもらえれば」と語りました。



竹村真紀さん
幼稚園教諭として長年勤務。2017年にボタニカルキャンドルと出会い、その後、多様なキャンドルを制作。銀座スタジオエスで資格を取得。花キャンドル認定校・花灯認定校

左) LEDを利用したキャンドル。取り扱いが簡単なので、グランピングなど屋外でも手軽に利用できます

右) 韓国キャンドル。ソイワックスを使用したクリーミーな色合いが特徴。インテリアとしても人気があります



キャンドルの取り扱い方
直接机などに置かず、必ず受け皿に置いて使用してください。炎を消すときは、芯の先をピンセットでつまみ、溶けたロウに浸して消します。ロウは新聞紙などに吸わせて捨てます。最後に芯の黒くなった部分をカットします

Atelier murmurer
アトリエ ミユルミユール
尾張旭市井田町
☎ https://murmurer-candle.com
✉ murmurer108@gmail.com
「マルシェあさみや」に出店予定。名城公園で毎月第1・3土曜(10時~15時)に開催。アトリエでの直接販売も可能(メールで要連絡)。ワンデーキャンドルレッスンや資格取得コースレッスンも。

スタンドグラス
月光窓
瀬戸市元町3-5
☎ 0561-58-1723
☎ https://gekousou.wixsite.com/gekkousou



山田祐紀さん
大阪芸術大学芸術学部環境計画学科卒業。2006年、スタンドグラス制作を始める。2011年、月光窓設立。2013年、第10回スタンドグラス美術展入選



ギャラリのパネルをリニューアルするため新しい作品を制作中。完成まで3週間ほどかかる見込み



ガラスカッターを使い、各パーツをカットします。慣れない頃は、力加減が分からずガラスを割ってしまったことも